

岩手山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続＞

本日（3日）01 時頃から岩手山山頂付近を震源とする火山性地震が増加しています。また、05 時 00 分頃にはマグニチュード 2.9（速報値）の火山性地震が発生しました。

引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

【防災上の警戒事項等】

西岩手山の想定火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

○ 活動概況

本日（3日）01 時頃から岩手山山頂付近を震源とする火山性地震が増加しています。本日 01 時から 10 時までに 40 回（速報値）観測しています。

また、05 時 00 分頃に山頂付近を震源とする最大振幅約 1,200 $\mu\text{m/s}$ （馬返し観測点（岩手山山頂から南東約 4 km）の上下動成分）の火山性地震が発生しました。広域地震観測網による観測では、この地震の震源のマグニチュードは 2.9（速報値）で、最大震度は 2（岩手県八幡平市）でした。

低周波地震や火山性微動は観測されておらず、地殻変動観測でも特段の変化は認められません。また、監視カメラによる観測でも、特段の変化は認められません。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています。

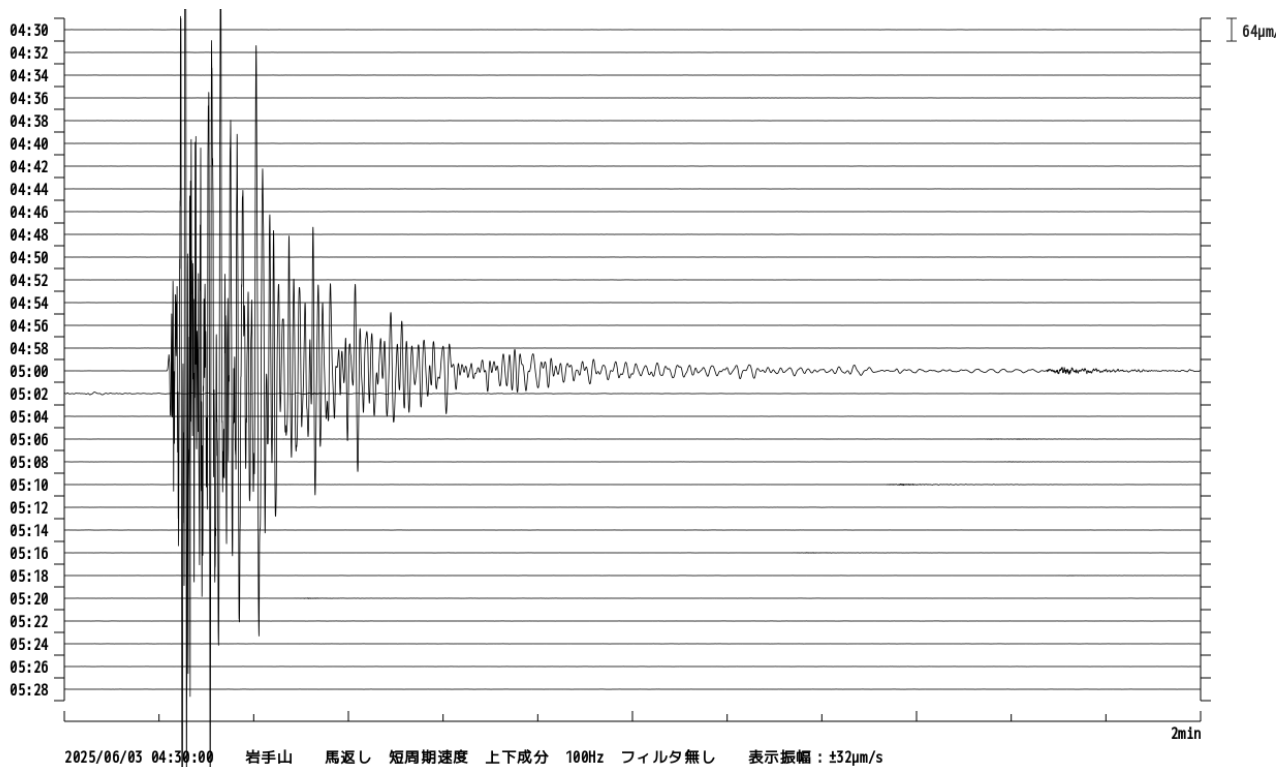


図1 岩手山 本日（3日）に観測された火山性地震
・馬返し観測点の上下動成分の波形を示します。

05時00分頃に最大振幅約1,200 $\mu\text{m/s}$ （馬返し観測点上下動成分）の火山性地震が発生しました。
また、広域地震観測網による観測では、この地震のマグニチュードは2.9（速報値）でした。

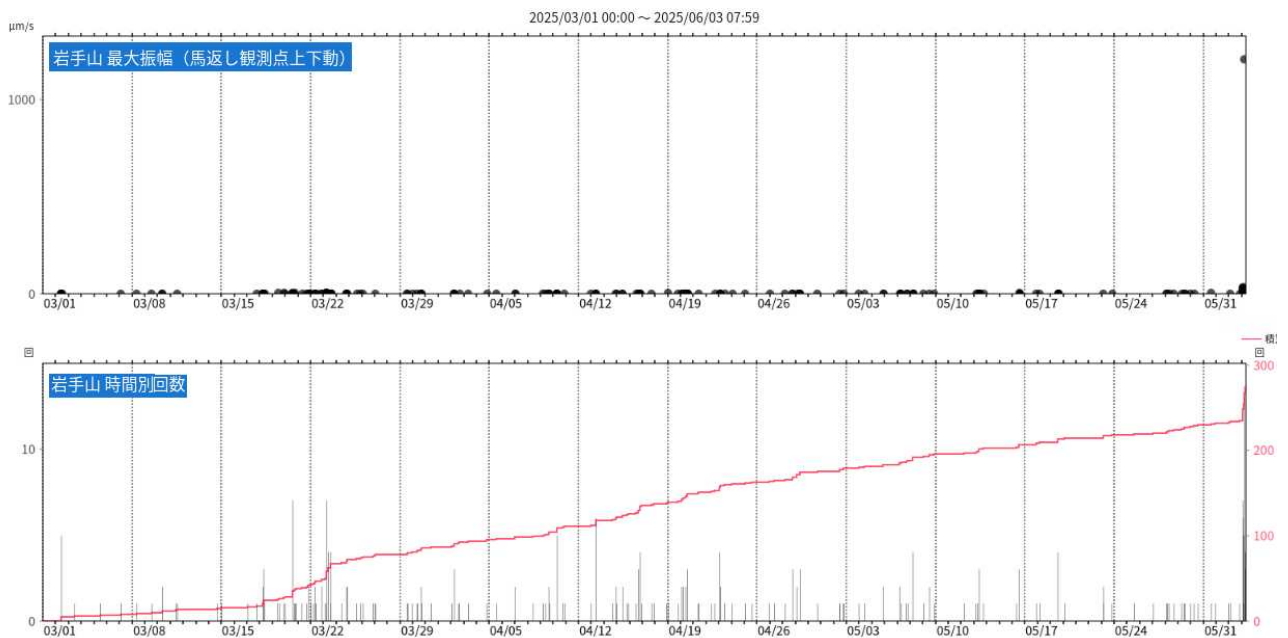


図2 岩手山 火山性地震の最大振幅（上段）及び時間別回数（下段）
(2025年3月1日～6月3日08時)

・上段は馬返し観測点の上下動成分の最大振幅を示します。

本日（3日）01時頃から岩手山山頂付近を震源とする火山性地震が増加しています。
本日05時00分頃に発生した山頂付近を震源とする火山性地震の最大振幅は、馬返し観測点の上下動成分で約1,200 $\mu\text{m/s}$ でした。

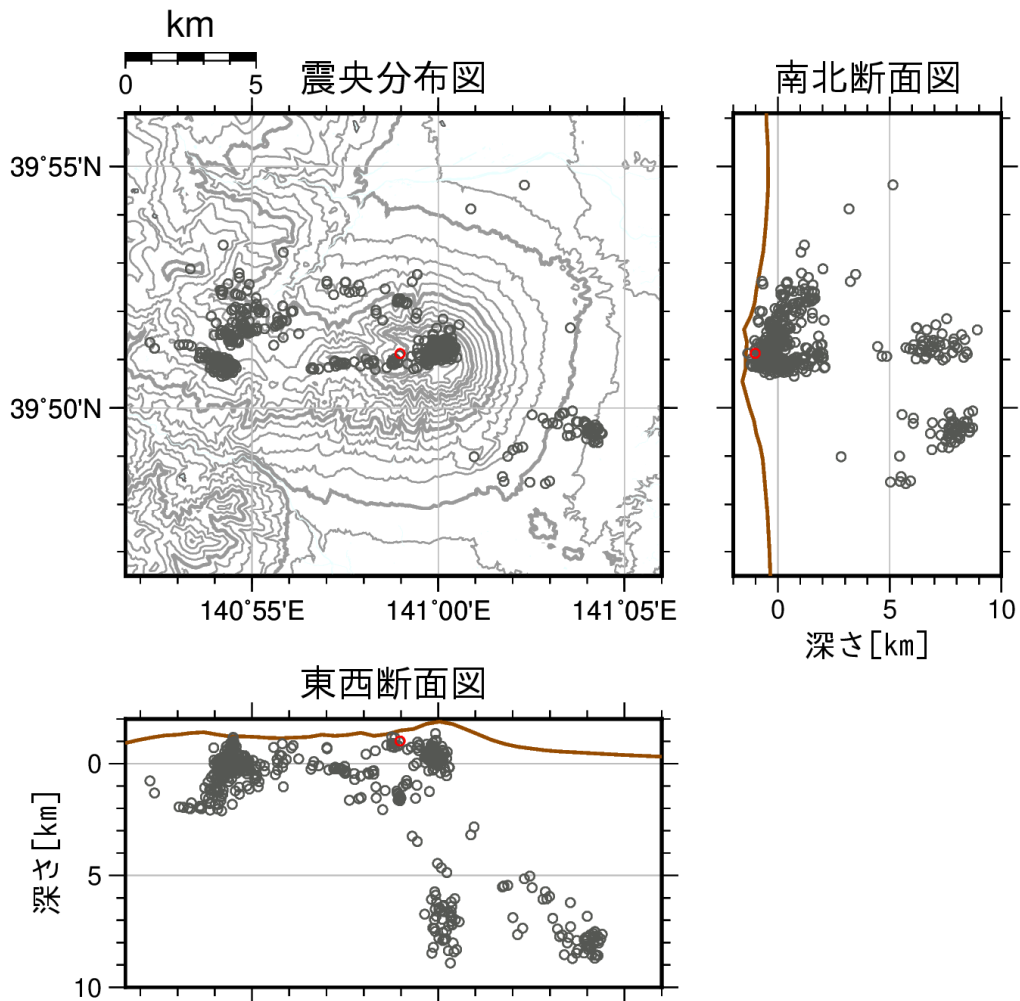


図3 岩手山 震源分布図 (2017年8月1日～2025年6月3日08時)

・赤丸が本日05時00分頃に発生した火山性地震（馬返し観測点の上下動成分の最大振幅が約 $1,200\mu\text{m/s}$ ）の震源を示します。

本日（3日）05時00分頃に発生した最大振幅約 $1,200\mu\text{m/s}$ の火山性地震の震源は山頂付近に推定されました。

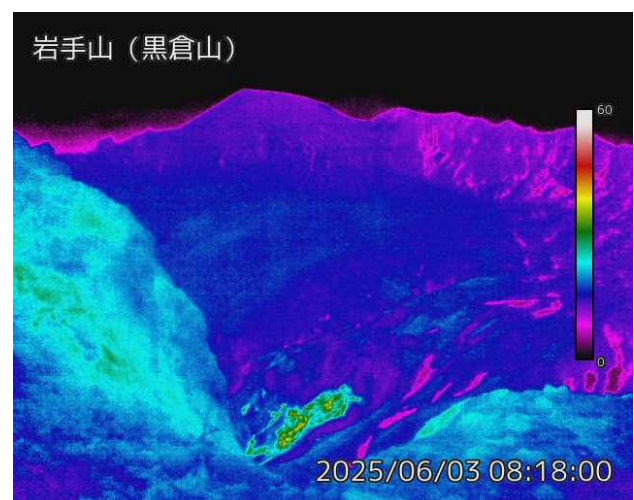


図4 岩手山 山頂部及び大地獄谷の状況（本日（3日）08時台）

・上段は柏台監視カメラ（黒倉山山頂の北約7km）の映像です。下段は黒倉山監視カメラ（大地獄谷の西約500m）で観測された可視及び赤外熱映像です。

監視カメラによる観測では、特段の変化は認められません。

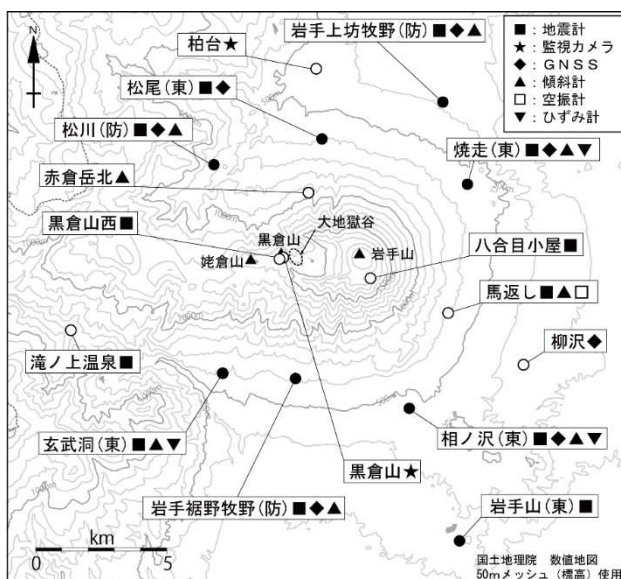


図5 岩手山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所